

ブラジル・ウィークリー

2018年8月27日発行号 作成:日興アセットマネジメント



先週の ブラジル株式市場 の動き (8月20日~8月24日) ブラジル株式市場は、ボベスパ指数で前週末比+0.3%となり、週間ベースで3週ぶりの上昇となりました。 20日(月)は、米中間の貿易対立緩和への期待から、上昇しました。21日(火)は、FOMC(米連邦公開市場委員会)の議事要旨に おいて、9月の利上げの可能性が示唆された一方、通商問題がリスク要因に挙げられたことが嫌気され、反落しました。22日(水) は、足元の下落を受けて値頃感が高まったことから買い戻しの動きが優勢となり、ボベスパ指数は前日比+2.3%と週の中で最も大 きく上昇しました。23日(木)は、米中間の貿易摩擦激化懸念が高まったことや、レアルの下落が嫌気され、反落しました。24日(金) は、原油価格の上昇や、FRB(米連邦準備制度理事会)議長が講演で利上げペースを速めない姿勢を示唆したことなどが好感され、 反発しました。





※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。 (信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

■当資料は、日興アセットマネジメントがブラジル株式市場などについてお伝えすることを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する 内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は 変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧 ください。